

銀の風



大田市立病院

〒694-0063 大田市大田町吉永 1428 番地 3

大田市立病院の様々な情報をホームページに掲載しています。

大田市立病院

検索

- セメイ国立医科大学留学生受入れ
- 院内保育所 たんぽぽ紹介
- 検査のおはなし
- 看護研究発表会
- 外来診療一覧
- 編集後記

Vol14

2017 春号



セメイ国立医科大学留学生の受け入れ ～ 大田総合医育成センター ～

平成 29 年 1 月 11～31 日の 3 週間、カザフスタン共和国のセメイ国立医科大学より、短期留学生ファルハッドさん、イェルシンさん、アイゲリムさんの 3 人が、大田市立病院（大田総合医育成センター）へ研修に訪れました。



竹腰市長を表敬訪問
(左から野宗医師、アイゲリムさん、イェルシンさん、竹腰市長、ファルハッドさん)

数ある日本の病院の中で、当院が研修先に選ばれた理由は、当院外科の野宗義博医師にあります。野宗医師（現特任教授）は、約 20 年前のチェルノブイリ原発事故以来、長年被ばく者医療の研究に携わってきました。平成 25 年、当時大田総合医育成センター長であった野宗医師の呼びかけでセメイ医科大学と島根大学医学部が国際交流協定を締結。その縁で、野宗医師が勤務する当院で毎年留学生を受け入れることとなりました。訪れた留学生は今回で通算 13 名を数えます。



手術研修

これまでの留学はカザフスタンの国費

留学でしたが、今回は独立行政法人科学技術振興機構の「さくらサイエンスプラン」（日本・アジア青少年サイエンス交流事業）という、日本の制度を利用した初めての来日となりました。

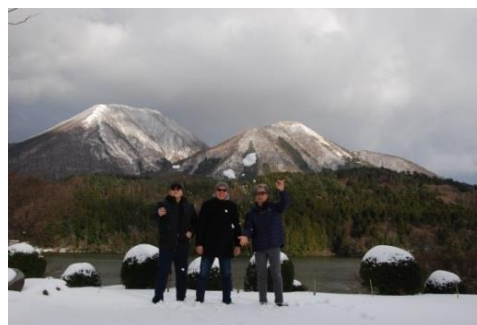
カザフスタンに比べると日本の医療は非常に水準が高く、当院のような地方の病院でも多くのことを学ぶことができます。外科診療や手術など実際の手技を中心に、日本の進んだ医療技術や知識を積極的に修得します。



仁摩小学校での出前講座

滞在中は、研修のほか市内の小学校へ出前講座に出かけたり、院内でカザフスタンの状況を発表したり、また休日は三瓶山や石見銀山などの観光も満喫しました。

留学生はいずれも、医療技術もさることながら、大田の豊かな自然と優しい人柄にとっても感激して帰って行きます。将来のカザフスタンの医療をけん引する



三瓶山を背景に記念撮影

若手医師にとって、大田での貴重な体験がきっと大きな糧となることでしょう。

和

誠意

奉仕

- 1) 大田二次医療圏の中核病院として、5 疾病 5 事業を中心とした急性期医療を提供します。
- 2) 病病・病診連携により、圏域に必要な医療提供に努めます。
- 3) 地域で必要度の高い疾病に対し、保健・福祉と連携した予防から介護までの一体的医療サービスを提供します。
- 4) 訪問看護等を通して在宅医療や地域医療の向上に寄与します。
- 5) 医療水準の向上と安全な医療環境整備に努めます。
- 6) 職員相互の協調によるチーム医療の実践と、よき医療人としての人材育成に努めます。



院内保育所たんぽぽの紹介



平成 20 年 12 月に 2 名の利用で開所した、たんぽぽ保育所も現在 0～5 歳児までの 26 名になり、9 年目を迎えました。夜間保育も定着し、また一時保育、学童保育の利用も多くなってきています。

病院内で働いておられる保護者の方に安心して仕事をして頂きたいと願い、『自分の夢は自分で実現できる人になってほしい』という保育理念のもとに保育にあたっています。

毎月 1 度行っている行事では、院内保育所ならではの病院内でのハロウィンパレード、看護の日のイベントや病棟で行われる敬老会への参加のほか、季節にあわせて遠足、運動会なども行っています。

毎週 1 回のリトミック(子供の音楽遊び)では、曲の流れと音に合わせた動きを考える表現遊びに取り組むことで、色・音への関心にもつながり子どもたちの楽しみの 1 つにもなっています。(たんぽぽ保育所 所長 松本)



《ハロウィン》



《看護の日》



《敬老会》



3月のイベント（お茶会）



院内保育所のイベント「お茶会」に参加させていただきました。

普段は天真爛漫に遊んでいますが、おもてなしを受けとても成長を感じほほえましかったです(#^^#)

恥ずかしそうにしながらも、みんなお作法を覚えて、上手にお手前ができていました。

院内保育では、休憩中などすぐにイベントや子供達の様子を見に行けるのが良い所です。

年長さん最後のお茶会楽しかったです。ありがとうございました(^_^♪ (リハビリテーション技術科 山崎)



利用者のご意見（看護師から）



子供がたんぽぽ保育所でお世話になっています。仕事をしながら子育てもでき、とても助かっています。本当にありがたいです。なかなか仕事が終わらず、毎日遅くなりますが、遅くまでみてくださるので、本当にありがたいです。また、勤務変更など急に預けなければならなくなった時も、柔軟に対応してくださるのでとても仕事がしやすいです。

（看護部 三原）

検査のおはなし vol.5

春は歓迎会やお花見など大勢で食事をする機会が増える時期ですね。

今回は、“脂質“についてのおはなしです。検査項目の脂質とは、主に中性脂肪(TG)、総コレステロール(T-CHO)、善玉コレステロール(HDL-CHO)、悪玉コレステロール(LDL-CHO)のことをいいます。これらは、血清という血液の成分で測定できます。特にTGは、食事後に高値となるので検査の際は注意が必要です。

“脂質“は、動脈硬化、脂肪肝や高脂血症などの指標となる重要な検査項目です。

(臨床検査科 岩谷)

看護研究発表会

看護部では、毎年各部署が看護研究に取り組んでいます。

今年度は1/28(土)に9題の成果を発表しました。

看護職員は日々の看護実践の中で、様々な気づきをしています。そこに着眼して問題を明らかにし、今後どのようにしていくか課題を見出すことができました。この看護研究は、看護の質の向上のために大切なことです。論文として仕上げるのが出来、学びを共有したことで有意義なものとなりました。

今後も研究の成果を日々の看護に活かしていきたいと思います。

各部署の研究発表は以下のとおりです。

(看護部 小林)

- 1階病棟：時間外母体搬送フローチャートの活用状況と問題点
- 2階病棟：地域包括ケア病棟看護師の退院支援における困難の実態と課題
- 3階病棟：病棟看護師による術前オリエンテーションの実態調査
- 4階病棟：連続夜勤勤務者のインシデント発生に対する不安
- 回復期リハビリテーション病棟：回復期リハビリテーション病棟における看護師の入院時訪問指導に対する認識と実態
- 介護療養病棟：ねたきり高齢者に対するスキンケアの実態調査
- 看護部師長会：副看護師長の役割発揮の実態と支援二ード
- 外来：救急外来看護師の感染対策における認識と行動の変化
- 手術室：夜間緊急手術の事例検討時後に手術室看護師がとらえた問題点と改善策 ～安心・安全な手術対応を目指して～



外 来 診 療 一 覧

(●初めての受診が可能 ○予約の方のみ)

平成29年 4月 1日 現在

診療科		月	火	水	木	金
一 般 外 来	内科	●	●	●	●	●
	神経内科	●		●隔週		
	消化器科	●	●		●	
	循環器科		●	●	●	
	メンタルヘルス科				○	
	小児科	●	●	●	●	●
	外科	●		●		●
	呼吸器外科					●
	心臓血管外科			●※8		
	整形外科	●※1		●※1		●※1
	脳神経外科			●	●	●
	皮膚科	●※2	●	●	●	●
	泌尿器科	●	●	●	●	●
	産婦人科	●	●	●	●	●
	放射線科		●		●	
	ペインクリニック	●		●	●	●
	眼科	●※3				●※3
	耳鼻咽喉科	●※4	●		●隔週	
	総合診療科		●		●	
専 門 外 来	リウマチ外来		○		○	
	腎臓内科		○			
	血液・腫瘍内科			○	○	
	ペースメーカー外来					○※7
	小児神経外来				○※9	
	小児心臓外来		○			
	乳児健診		○			
	小児予防接種					○
	女性泌尿器科外来				●※5	
	緩和ケア				○※6	
	乳がん検診				○	

【受付時間】 8:30~11:00 (予約の方はこれ以外の時間になることがあります)

- ※1 予約券をお持ちの方は8:30~15:30 初診の受付を制限する場合があります
- ※2 隔週で午後の診察(13:15~15:00)もあります
- ※3 初めて受診される方は8:30~10:30
- ※4 第1・3月曜日
- ※5 第1・3・5木曜日 8:30~12:00 予約外の受付は11:00まで
- ※6 第3木曜日
- ※7 第2金曜日 14:00~16:00
- ※8 第2・4・5水曜日
- ※9 第1木曜日

～編集後記～

例年、インフルエンザが春先まで猛威を振るっており、まだまだ油断なりませんが、いかがお過ごしでしょうか。我が家では、核家族の6人で賑やかに過ごしています。以前、一家でインフルエンザにかかったときは大変でした。順番にかかっていき、治りかけると次の子が発症する。ついに、夫婦ともに発症しました。症状が軽い方が家事、育児を行う暗黙のルールを制するのはどちらか？競い合うかのように、しんどいアピールをします。体温を小刻みに測定し、最高値が表示された体温計の数値を見せ、ぐったりしてみせる(お互い本当にしんどいのですが)。静かな戦いが繰り広げられるのです。年々、風邪の時の演技力(?)が増してきた夫に優しくなれない私がいいます…。皆様、お体を大切に。旦那様を大切に。

(担当 5884)